

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷場中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度全国学力・学習状況調査(国・数)「知識・技能」に関する調査において、自校の平均正答率を令和4年度より2pt向上させる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度全国学力・学習状況調査(数)「思考・判断・表現」に関する調査において、自校の平均正答率を令和4年度より2pt向上させる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度さいたま市学習状況調査における「(5教科)の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を、80%以上にする。

年度末評価

次年度に向けて
(3月)

目標・策の設定
(4月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	<p>調査結果分析(2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) <p>職員会議・校内研修等</p>	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

さいたま市学習状況調査

<小3~中3>(1月)

児童生徒の
学力の
向上



② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+1pt、数学-3ptであった。数学では、「数と式」領域において平均正答率が74.4%と全国平均と比べて、11.4%高い結果となった。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+6.6pt、数学+6.5ptであった。英語については、全国平均と比べて+11.7ptという結果となった。数学では、「図形」領域の証明問題において、平均正答率が54.6%と全国平均と比べて22.5%高い結果となった。
主体的に学習に取り組む態度	国語、数学、英語について、「各教科の勉強は好きですか」という質問項目に肯定的に回答した生徒比が、全国平均や県公立平均と比較しても高い結果となった。

調査結果分析(7~8月)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)
- ③分析共有(児童生徒の実態把握)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」に関する調査において、自校平均正答率が令和4年度調査と同等の結果を目指す。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度さいたま市学習状況調査「思考・判断・表現」に関する調査において、自校平均正答率が令和4年度調査と同等の結果を目指す。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度さいたま市学習状況調査における「(5教科)の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を、80%以上にする。